

景気動向指数の採用系列変更について

平成 30 年 12 月 13 日
内閣府経済社会総合研究所

経済社会総合研究所では、景気動向指数の採用系列変更については、景気動向指数研究会（内閣府経済社会総合研究所長の研究会、座長：吉川洋 立正大学経済学部教授）での議論を踏まえて行っている。

第 18 回景気動向指数研究会（平成 30 年 12 月 13 日開催）では、採用系列見直し方針の中間報告等を検討した結果、一致指数に内閣府「輸出数量指数」（季調値）を新たに採用することが妥当との合意が得られた。

また、系列変更のタイミングについて、これまでは景気の山・谷の確定時に行っていたが、必要があれば、山・谷の暫定設定時にも行うとすることで研究会の合意が得られた。

経済社会総合研究所としては、これを受けて、今後、景気動向指数の採用系列を変更する場合は、景気の山または谷の設定時（暫定の場合も含む）に行うこととし、第 16 循環の景気の山の暫定設定時には、内閣府「輸出数量指数」（季調値）を新たに一致指数に加えることとする。

以上